

鶴見川源流保水の森学習 & どんぐり工作



つるみ川の
はじまりって
どんなところ？



つるみ川流域の
どんぐりをつかって
ペンダントや
コマを作るよ。

豊富な水をたくわえ水害から下流の都市を守ると共に、多様な生きものの暮らしを支える鶴見川源流保水の森。この保水の森のはたらきを学び、流域のどんぐりを使った工作を行います。

2015年 **11月14日(土)**

要申込み
定員になり
次第締切り

午前の部 10:30 ~ 12:00

午後の部 14:00 ~ 15:30

場 所：地域防災施設鶴見川流域センター・1階コミュニティールーム

対 象：小学生と保護者（※小学生は保護者同伴です。※未就学児は保護者が1対1で付きそう場合のみ可）

定 員：各回・子ども10名

参加費：工作実施者1名につき300円（資料・材料代等）、同伴者は無料

/ 友の会ポイント：2P



地域防災施設 鶴見川流域センターによろこ

鶴見川流域では、市民・企業・行政が力を合わせて、水害のない安全な街、いろいろな生きものがくらす素敵な水辺や街を作ろうと、「鶴見川流域水マスタープラン（略称：水マス）」を進めています。流域センターでは展示やイベントを通して、楽しく水マスをマスターすることができます。



【11月のテーマ】 源流保水の森

鶴見川の源流をご存じでしょうか？源流というにふさわしく、緑濃い森が広がっています。多様な生きものを支えるマジックツリー「エノキ」や秋の実りのどんぐりをたくさんつける「クヌギ」の植樹など、市民・企業・行政が連携した環境回復事業により魅力的な森が創出されています。この森に降った雨は、大地に浸み、下流を水害から守る保水地域の役目もはたしています。

来館者25万人達成

当センターは、2003年9月23日にオープン。年々、来館者が増え、オープンした当時と比べると2倍の皆様がセンターを訪問してくださっています。おかげさまで、先月の10月5日（月）には、累計25万人目の来館者を迎えることができました。鶴見川流域の学習を目的に訪れた川崎市立東柿生小学校4年生・2クラス・70名がめでたく「25万人来館記念者」として認定されました。



「かくれんぼの生きものさがし！」は大人気！

子どもたちに人気一番は、センターに隠れている生きものを見つけ出すゲーム「かくれんぼの生きものさがし！」。センターを隈なく探さないと発見できないところが魅力なのでしょうか？土日はこれを目当てに子どもたちがたくさんやってきます。チャレンジして、全部発見できると、ご褒美に友の会ポイント1Pかバクコイン1バクをもらえるのも魅力。これ以外にも毎月変わる展示やイベントが満載です。



センターのご利用について

【昼食】 イベント開催時は1Fコミュニティルームを昼食の場所として開放します。

お気軽にご利用ください。時間 12:00～13:00

(但し他の事業予定があるときは不可)

【センター観】 小学校3年生以下は、保護者同伴でご来場ください。

【飲み物】 給水施設はありませんので、各自お飲み物をご持参いただくか、

自動販売機をご利用ください。

自然・治水・防災を楽しく学べる

地域防災施設 鶴見川流域センター

email:waku2tsurumi@ktr.mlit.go.jp ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00490.html>

鶴見川流域センター 検索 (火曜休館10:00～17:00) 〒222-0036 横浜市港北区小机町2081



鶴見川源流保水の森学習&どんぐり工作

申込者氏名	申込者住所	申込者 TEL
		申込者 FAX

●参加者全員（申込者以外）のお名前をご記入ください。※参加者がお子様の場合は年齢（または学年）も必ずご記入ください。
※小学生は保護者同伴です。

	・午前の部	工作個数
	・午後の部	個

※参加に伴う個人情報の取り扱いにつきましては、本企画の実施に限り使用させていただきます。

↓ FAX: 045-475-1999 TEL:045-475-1998